

★本記事の読み上げ動画を作成しました！

忙しく記事を読む時間がない方でも、耳を傾けていただくだけで内容を把握することができるよう、本記事を読み上げた動画を作成しました。移動時間やスキマ時間などにぜひご活用ください！
動画はこちら➡<https://youtu.be/-LLvpPBKkg>



過去の動画はこちら



連載

★学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブ★

一般社団法人スポーツフェライン高松
香川県高松市

学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

文部科学省では、令和5(2023)年から令和7(2025)年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現をめざすよう各自治体に求めており、総合型クラブにおいても学校運動部活動との連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動の地域展開に取り組むクラブを紹介します。

1

クラブ概要

硬式テニスクラブの活動サポートがきっかけ。
「～まち全体をスポーツフィールドに！～」を理念に発足

クラブがあるのは、香川県の県庁所在地である高松市の中心部に位置する紫雲校区です。

高松市は現在人口約42万人で、香川県内人口の44.8%を占めており、そのうち紫雲校区の人口は31,600人ほどとなっています。

平成20(2008)年ごろ、代表理事が指導者として関わる紫雲校区の民間テニスクラブに通っていた小学生から「中学校でも硬式テニスがしたいけど部活動がない」と相談がありました。紫雲中学校にはテニス同好会はあるものの、顧問のなり手がいない、校内のテニスコートはソフトテニス部が活用しており空いていないといった理由から部活動がなく、代表理事が公営テニスコートや近隣の香川大学テニスコートを借りて個人的にサポートを行っていました。

こうした現状を踏まえ、代表理事が中心となり平成23(2011)年度に設立準備委員会を発足。toto助成事業「創設支援事業」を活用し、2年間の準備期間を経て平成25(2013)年度「～まち全体をスポーツフィールドに！～」を理念としたクラブを発足しました。

現在は看板種目である硬式テニスを中心に、貯筋運動教室、トレイルランニングを加えた3種目の定期活動に取り組んでいます。



クラブの立ち上げ当初から参加しているテニスメンバー



高松市が一望できる石清尾山塊でのトレイルランニング



地域のコミュニティセンターで実施する貯筋運動教室



香川大学テニスコートでのキッズテニス。大学生がスタッフとして協力してくれている

2

取り組み内容

部活動支援を行う種目ごとに練習会、体験会、交流会を行い、目的に合った種目とレベルに参加

これまでは代表理事が個人で硬式テニスの部活動支援を行っていましたが、令和5(2023)年度から公益財団法人スポーツ安全協会による中学校等の放課後活動への助成(中学校部活動地域連携・移行普及事業)がスタート。これを受託し、クラブとして部活動支援に取り組むことになりました。(参考 <https://www.sportsanzen.org/sports/subsidy.html>)

令和5(2023)年度～令和7(2025)年度の3年間受託しており、現在3年目(助成最終年度)になります。令和7(2025)年度は、硬式テニス、ハンドボール、野球(軟式・硬式両方)の3種目に取り組んでいます。

硬式テニスは代表理事およびスタッフ、野球は元横浜DeNAベイスターズでアスレティックトレーナーとして活動していた指導者が教えています。野球については代表理事が指導者から部活動支援に関する相談を受けたことを契機として活動をスタートさせました。

また、ハンドボールは県内強豪チームである香川銀行もしくは高松ハンドボールクラブの指導者に依頼予定で現在調整中です。ハンドボールはクラブ会員から「孫がハンドボールをやりたいがっているけど指導者がいない」と相談を受けたことがきっかけで取り組みが始まりました。

事業概要

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
助成額	50万円(満額)	35万円	45万円
実施種目	硬式テニス	硬式テニス	硬式テニス、ハンドボール、野球 ※野球は軟式・硬式両方
実施時期	10月～3月	5月～3月	5月～3月(予定)
内容	練習会 (2時間/回、月2回)	練習会(2時間/回、月2回) 体験会(不定期) 交流会(午前/午後それぞれ 3時間、計6時間を1日で実 施し、これを1回とする)	◆硬式テニス 練習会(2時間/回、月2回) 体験会(不定期) 交流会(午前/午後それぞれ3時間、計6 時間を1日で実施し、これを1回とする) ◆ハンドボール:練習会、体験回、 交流会すべて含め7回 ◆野球:練習会、体験回、交流会すべて 含め全9回
平均 参加人数	6人	6人	◆硬式テニス:6人(予定) ◆ハンドボール:9人(予定) ◆野球:9人(予定)
参加費	1,000円/回	練習会:1,000円/回 体験会:500円/回 交流会:2,000円/回	◆硬式テニス 練習会:1,000円/回(2時間) 体験会:500円/回 交流会:3,000円(3時間1,500円) ◆ハンドボール、野球 練習会、体験回、交流会いずれも 500円/回

本事業では、種目ごとに①練習会、②体験会、③交流会の3つの事業を行っており、それぞれ

①練習会:練習の機会をつくる。

②体験会:事業を知ってもらうことが目的。継続して活動したい人は練習会への参加を促す。

③交流会:違う学校の生徒同士や初心者と経験者など、ふだん一緒にプレーする機会のない参加者同士の交流を目的とした事業。

と、異なる目的で実施されています。

非会員でも参加可能としており、クラブ会員はスポーツ安全保険を、非会員は単発のレクリエーション保険に加入することでリスクマネジメントを図っています。



活動を紹介したチラシ

3 「地域密着やスポーツライフについて考えること」や、「スポーツに取り組む選択肢が増えた」など参加者の声に寄り添った活動をめざす

令和5(2023)年度から、事業のたびに参加者の子ども・保護者・指導者に口頭でヒアリングを行っており、以下のような声が届いています。

●参加者(子ども)

「専門指導を受けることができてとても勉強になった」

「もっと実施回数を増やしてほしい」

「ふだん試合で競うことはあっても交流することのない他の学校の参加者と一緒にプレーできて楽しかった」

●保護者

「会場が主に中学校校区内や近隣での実施で、保護者や家族などの送迎を必要とせず助かっている」

「参加費など、民間スポーツクラブなどより安価にて費用を抑えることができています」

「学校内の部活動と違い、辞めることや変えることが容易だ(親の考えとしても、選択肢が増えた)」

「部活について、家族で子どもと話す機会を持てた」

「今後の部活動がどうなっていくのかを知る機会になった」

●指導者

「顧問の先生や学校側、また行政との相談を行う機会が増え、学生や子どもたちを中心とした、地域密着やスポーツライフなどについて考える機会が増えた」

「今後の部活動のあり方や地域展開へ向け、必要となることや変えていくことなど、当事者意識を持ち考えることが増えた」

「勝敗にこだわりすぎず、指導やサポートを行えている」

「指導者として、学生たちや子どもたちに接する場や機会が増え、学びが持てている」

などの肯定的な声が多く寄せられています。さらに、よりよいクラブ運営ができるよう、しっかり参加者の声に耳を傾け、「実施回数の増設(平日での実施も含め)」、「(自分より)うまい人と練習や試合をしたい」、「有名な選手やプロの指導を受けたい」、「クラブチームでも全国大会へ出場したい(優勝しても全国大会へ出場できない種目もある)」、「電子マネーでの参加費などの支払い(現在は、現金支払いおよび振込みに対応)」など、参加者が望む形で事業が実施できるよう取り組んでいきます。



部活動支援の様子



高松市との連携を深めること、積極的な情報共有が課題

現在の課題は、参加費の設定と高松市行政との連携の2点です。

参加費について、硬式テニスは民間テニスクラブが普及していることもありお金を払ってスポーツをすることに抵抗感はあまり見られません。一方で、ハンドボールと野球については本年度の実施を通してヒアリングを行っていく必要があります。

例えば野球では、指導者と学校教員を交えた話し合いのなかで「団体競技では部やチームから指導者に謝金が支払われることが多く、参加者個人から指導者個人へ謝金を支払うイメージがしにくいのではないか」といった意見が出ており、個人種目と団体種目で参加費の徴収および謝金の支払い方法を工夫する必要があると感じています。

高松市行政との連携について、現在は教育委員会から事業に後援をいただく限定的な連携にとどまっています。

高松市は県内でいちばん人口規模が大きく学校数も多いため、市として部活動の地域展開に関する具体的な方針が、現時点では明確に示されておらず、そのため、現在是对応可能なクラブができる範囲で取り組みを進めている状況です。

部活動支援はスポーツ安全協会助成事業の助成期間終了後もクラブとして継続的に取り組む予定であり、令和5(2023)年度からの取り組み実績を活かして、市と積極的に情報共有を図っていきます。

4 ネットワークを活かし、未来を見据えた新しい展開を

高松市は、公益財団法人高松市スポーツ協会が市内体育施設の指定管理者となっているため、総合型クラブが指定管理者になることができません。また、人口に対してスポーツ施設の数が不足していることもあり、クラブが安定して活動できる場所の確保がいちばんの課題となっています。

この部活動の地域展開を契機に、拠点地域内の学校や大学と連携を図り、クラブとしてより安定的な活動ができるよう取り組んでいきたいと考えています。

現在、クラブではマンパワーが不足気味であり、実施種目においても指導者が抜けるとその種目自体が継続できなくなるという課題を抱えています。

部活動の地域展開のみならず、1クラブでは実施できる種目にも限界があるため、香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会のクラブネットワークを活かして、指導者の共有や新たな事業展開に力を入れていきたいと考えています。

一般社団法人スポーツフェライン高松 代表理事 松下 隆

クラブプロフィール

設立年月日 平成25(2013)年3月22日(平成30年4月2日 法人登記)

所在地 香川県高松市井口町7-9

運営 会員数:43名(令和6年10月現在)、予算規模:1,500,000円(令和6年度)

特徴 特定の母体や団体を持たず、志を同じくする有志が集まり、一から立ち上げた地域スポーツクラブです。

幼児から高齢者まで幅広い世代の方々が参加しており、県内トップレベルの選手や経験豊富な指導者・協力者とともに、継続的に活動を行っています。

地域に根ざした運営を重視し、参加者の目的やニーズに応じた多様なプログラムを展開しています。

また、誰もが気軽に参加できる開かれた環境を提供し、健康づくりや世代間交流の場としての役割も果たしています。

今後も、地域社会に貢献できる持続可能なクラブ運営をめざしています。

連絡先 〒760-0038 住所:香川県高松市井口町7-9

TEL:090-3988-9917

HP:<https://www.facebook.com/svt2018/> (Facebook)

E-mail: svt20180328@gmail.com

